

News Release

 2015年1月15日
 NTTアドバンステクノロジー株式会社

TeleStax 社の次世代アプリケーションサーバー向け製品シリーズの取扱開始について ～ レガシーな SS7 から最新の WebRTC まで対応。 Web・映像・音声で連動したリアルタイムコミュニケーションサービスをクラウド上で短期間に実現 ～

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT - AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:花澤隆)は、TeleStax Inc. (テレスタックス社、本社:米国)の正規販売代理店・テクノロジーパートナーとして同社のシグナリングソフトウェア「TelScale(テレスケール)」と次世代開発プラットフォーム「Restcomm(レストコム)」を2015年1月16日(金)より提供開始します。

昨今ブラウザ同士でリアルタイムコミュニケーションを可能とする新技術として WebRTC[®]が注目されるなど、Web・映像・音声で連動した新たなサービスが期待されています。

「TelScale」はレガシーな SS7[®]や SIP[®]のシグナリング・プロトコルに加え、最新の WebRTC にまで幅広く対応した通信用のソフトウェア製品群です。これにより、既存通信システムの更改や WebRTC との相互接続などを容易に実現することができます。

「Restcomm」は、「TelScale」上に構築された、高レベルな API を提供する次世代開発プラットフォームで、アプリケーションの開発者は通信処理の複雑さを意識することなく、Web 開発で使い慣れた言語・ツールを用いて通信サービスを短期間に開発することが可能になります。

「TelScale」と「Restcomm」により、通信と Web が融合した新しいアプリケーションの開発から構築・サービスの提供までを短期間に実現できます。

スマートフォンやタブレットの普及と共に多くの利用者が様々なデバイスからインターネットを利用し、Web と映像・音声を連動させた新しいサービスへの期待がますます高まっています。

今般提供を開始する「TelScale」は、レガシーな SS7 や SIP などのプロトコルから、最新の WebRTC までをサポートしたアプリケーションサーバーを容易に構築することができます。

また「Restcomm」の提供する API により、アプリケーション開発者は通信処理の複雑さを意識することなく、使い慣れた言語・開発ツールで通信と Web が融合したアプリケーション開発を行うことができます。また、API を外部に提供する(Open API)ことにより、外部の Web サービスと連携したアプリケーションの実現も可能です。

「TelScale」「Restcomm」を活用することにより、新しいアプリケーションの開発から構築、サービス提供までをクラウド上に短期間で効率的に実現できます。

両製品ともに、海外でキャリアや通信機器ベンダにおいて多くの商用導入実績があります。日本では、NTT-AT が初めてテクノロジーパートナーとして、販売および技術支援を行います。

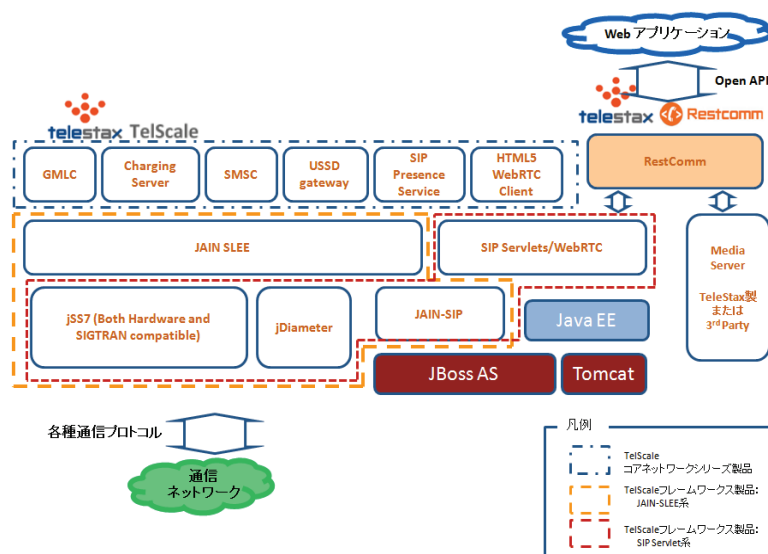


図1 TeleStax 製品アーキテクチャ

■ TelScale (テレスケール) について

10年以上の実績があるオープンソースソフトウェア「Mobicents (モビセンツ)」を2011年に商用化した製品です。3GPPなどの標準に準拠し、通信システムの構築に必要なSIPなどのシグナリング機能、認証や課金等に必要なDiameter (ダイアメータ) 機能などを幅広くサポートしています。JBoss AS、Java EE上で動作し、音声やビデオおよびメッセージ等のデータ通信を統合したサービスの開発、導入に最適なアーキテクチャを提供します。オープンソースである「Mobicents」で試作後、「TelScale」を購入することもできます。

【ラインナップ】

TelScale (テレスケール) フレームワークスシリーズ

各種シグナリング処理機能をコンポーネント化したアプリケーションサーバーです。SS7、MAP、TCAP、INAP、ISUP、SMPP、USSD、XMPP、SIP、MGCP、HTTP、XDM、XCAPをサポートしています。高信頼性(冗長化構成のサポート)や拡張性に優れ、既存のSS7、IMSベースのサーバーリプレイスやWebRTCに対応したサーバー機能を実現できます。

TelScale (テレスケール) コアネットワークシリーズ

TelScale フレームワーク上で、通信サービスを提供する上での主要な機能をコンポーネント化したアプリケーションサーバーであり、SMSC (ショートメッセージサーバー)、OCS (課金サーバー)、GMLC (位置情報サーバー) などを用意しています。

■ Restcomm (レストコム) について

音声、SMS、WebRTC等を統合したサービスを開発し、これらを短期間で展開するための次世代のクラウド通信プラットフォームで、TelScale上に実装可能です。Web開発者にフレンドリーなAPIに加え、GUI上の設定だけでアプリケーションを作成可能な「Restcomm Visual Designer (レストコム ビジュアル デザイナー)」も搭載しており、アプリケーション開発者を強力にサポートします。

Restcommは、広くWebサービスに使用されているRESTful^(※)なOpen APIを外部に公開可能で、外部サービスと連動する多彩なサービスの開発/構築を飛躍的に短期間で進めることができます。

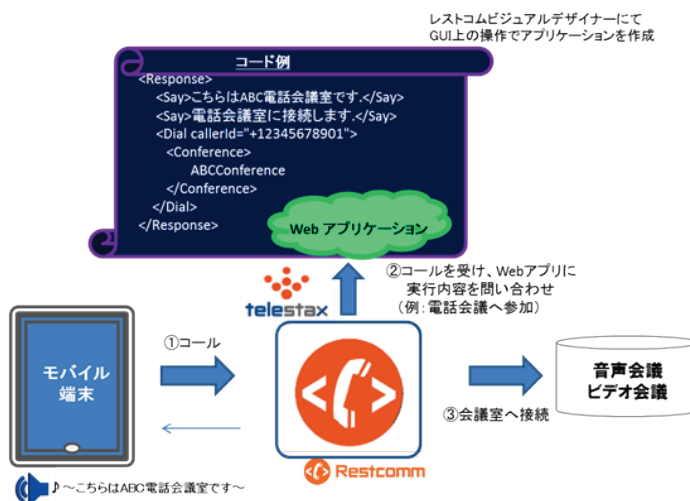


図2 レストコムの動作イメージ

■ TelScale の用途例

- ① 既存の SIP サーバーの更改
現在利用されている SIP サーバーは、独立したハードウェアで構成されているものが多くあります。これらのサーバー類をまとめてクラウド化することで、コストや開発期間の削減が図れます。
- ② WebRTC と IMS の相互接続
WebRTC と IMS との相互接続におけるシグナリングゲートウェイとして活用できます。なお、メディアゲートウェイには、弊社が既に提供している Dialogic 社の PowerMedia XMS との連携も可能です (本ソリューションは TeleStax 社と Dialogic 社の WebRTC 統合ソリューションとして昨年11月に発表されました)。
- ③ ネットワーク機能の仮想化(NFV)への適用
これまで物理的に用意していたネットワーク機器の機能を仮想化し集約するNFVへの期待が高まっています。通信事業者などにおけるNFVを利用した新サービスのコンポーネントとして利用できます。

■ Restcomm の用途例

- ① WebAPI 公開と外部 Web サービスとの連携
通信事業者やサービスプロバイダーが WebAPI を公開することで、自社ネットワークサービスをお客様やビジネスパートナーに利用してもらいやすくなります。また外部の SNS サービスとの連携なども容易に実現できます。

■価格

- ・TelScale フレームワークスシリーズ :78 万円/年 から
- ・TelScale コアネットワークシリーズ :96 万円/年 から
- ・Restcomm :180 万円/年 から (時間単位での利用も可能)

JVM (Java 仮想マシン) 当たりの年間ライセンス料です。保守レベルにより異なります。詳しくはお問い合わせください。

■販売目標

350,000,000 円 (～2017 年度末までの約 3 年間)

※用語解説

WebRTC … パソコンやスマートフォンのブラウザ間で音声、映像、データなどのリアルタイム通信を実現する技術。特別なソフトのインストールを行わずにブラウザだけで、リアルタイム通信ができ、他の Web サービスとも連携が容易なため注目されている。

SS7 … 電話網で使われているシグナリング・プロトコル。

SIP … IMS (Internet Multimedia Subsystem) や VoIP (Voice over IP) を応用したインターネット電話などで用いられるシグナリング・プロトコル。

アプリケーションサーバー … アプリケーションソフトウェアの実行に特化したネットワーク上のサーバーコンピュータ、またはそれらのコンピュータ上でアプリケーションの実行を管理するミドルウェア。

RESTful … ソフトウェアアーキテクチャのひとつである REST (Representational State Transfer) アーキテクチャの原則に合わせた Web サービスの API 作法。

本件に関するお問い合わせ先

NTTアドバンステクノロジー株式会社
グローバルプロダクツ事業本部
メディアコミュニケーションプロダクツビジネスユニット
テレスタックス担当
TEL: 044-280-8777 E-mail: vocalnet@ml.ntt-at.co.jp

参考

TeleStax Inc. (テレスタックス社)について

テレスタックスはオープンソースソフトウェアを商用提供する法人として2011年に米国にて設立されました。通信インフラの複雑さを取り除くことで、Web サービス開発と同程度のコスト・期間で、Web と連携した革新的な通信サービス開発を支援することを目指しています。

2003年に設立されたオープンソースコミュニティ「Mobicents(モビセント)」には、全世界で1,000人を超える技術者が登録しています。2011年にモビセントをテレスケールとして商用提供して以来、欧州、北米、南米、アフリカ等の多くの国際・国内通信キャリア、4G/LTEによるMVNO/MNO、およびISPにて広く利用されています。

NTTアドバンステクノロジー株式会社について

NTTアドバンステクノロジーは1976年の創立以来、NTTグループの技術的中核企業として、NTT研究所のネットワーク技術、メディア処理技術、日本語処理技術、環境技術、ナノ部品技術などの多彩な先端技術のみならず、国内国外の先端技術を広く取り入れ、それらを融合してお客様の課題を解決し、お客様にとっての価値を提供し続けています。海外製品の日本における販売代理店としても豊富な実績があります。